

教科	家庭	科目	服飾手芸	年次	3～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		令和版 はじめての「ぬう」と「あむ」＋おさいほう（主婦の友社）					

学習 目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 (2) 手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 (3) 手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。	
評価の 観点	① 知識・技能	手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。
	② 思考力・判断力・表現力	手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
	③ 学びに向かう力・人間性等	手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価の 方法	製作した作品やリフレクションペーパーで総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 手芸の種類と特徴	・手芸の種類と特徴について理解します。また、手芸の種類と特徴の表現効果について課題を発見し、その解決に向けて考察します。
	2 刺し子のふきん	・刺し子の技法を用いて、ふきんを製作します。
	3 巾着袋	・巾着袋を製作し、手縫いの基礎・基本を習得します。
	4 コースター	・ランニングステッチの技法を用いて、好きな柄を刺しゅうします。 ・なみ縫いやまつり縫いなどの基本的な縫い方を習得し、コースターを製作します。
	5 マスコット	・好きな模様や柄を考え、フェルトと刺しゅう糸を用いてマスコットを製作します。
	6 ミサンガブレスレット	・自分の好みのカラーリングを考えます。 ・巻き結びを繰り返し、自分の手首の大きさに応じたブレスレットを製作します。
後期	7 手芸の変遷	・手芸の変遷について理解します。また、手芸の変遷と手芸技法との関係について課題を発見し、その解決に向けて考察します。
	8 アクリルたわし	・アクリル毛糸を用いて、指編みやかぎ編みでたわしを製作します。
	9 ティッシュボックスカバー	・半返し縫い、本返し縫いなどの基本的な縫い方を身に付け、ボタン付けやスナップ付けを習得します。 ・デザインを考え、レースの技法を用いた装飾を施します。
	10 水引細工	・紙ひもを結び、水引細工の基本であるあわじ結びを行います。
	11 ストラップ	・飾り結びでストラップを製作します。 ・ひもの色やビーズの模様の組み合わせを工夫します。
	12 コサージュ	・ワイヤーと布を用いてコサージュを製作します。 ・染色の技法を身に付けます。